

申12号 本日提出！！

ワンマン運転の拡大に関する解明申し入れ



会社は、変革 2027 の一環として安全の確保をベースとした業務の高度化を追求し、かつ、今後の社会環境の急速な変化に対応しながらお客さまが求める輸送サービスを提供していくために、7月24日に「ワンマン運転の拡大について」を提案しました。今回の内容は、線区や区間を限定せず、短編成のみならず中・長編成を今後更に拡大していくというものです。

これまでの団体交渉の中でも“将来的な車掌業務の変化”について会社は主張してきてはいますが、その一方で具体的な内容が明確になっていないことや、検討段階の情報が掲示板に掲出されたことなどを通して、「ワンマン運転を拡大して安全が保たれるのか」「駅は委託化や無人化が進んでいるのに大丈夫なのか」「車掌をしている人たちはこの先どうになってしまうのか」など、現場では不安の声が多く出されています。

本部は、組合員・現場の声を受け止め、今施策を実施するにあたっての目的と安全・サービスレベルの向上について会社と議論していきます。そして、本日、18項目にわたる解明申し入れを提出しました。

1. 今回、ワンマン運転を拡大するに至った理由
2. 現行ワンマン運転の成果と課題
3. お客さまが求める輸送サービスの提供と今施策の関連性
4. ワンマン運転の拡大によって安全を担保できるとする根拠
5. 自動運転技術等を活用した「人」と「システム」のベストミックスの考え方
6. それぞれの線区・区間、お客さまのご利用状況等における短・中・長編成の判断基準
7. 中・長編成ワンマンに必要な車載ホームモニタの車両完結型とミリ波伝送式の整備基準及び整備状況
8. ホームドアについて、お客さまのご利用の多い路線の駅の判断基準及び整備状況
9. 指令-客室間通話機能の整備を長編成ワンマンに限定している理由
10. 現在検討している短・中・長編成ごとの線区別における年度別の導入計画
11. 車両の転用・改造及び新造計画、架線レス化及び蓄電池車の導入計画
12. ATO（自動列車運転装置）TASC（定位置停止装置）の試験走行の進捗状況と年度ごとの整備・実施計画
13. 特別急行列車及び快速列車、臨時列車等における考え方
14. 現行ワンマンとの違い。今後の旅客対応や取扱い等。
15. 自然災害等の実績が多いとされる線区・区間への導入の考え方
16. 異常時における対応の考え方
17. ワンマン運転の拡大を通じた車掌要員の変動効果
18. ワンマン運転の拡大及び車掌業務の変化に伴う混み運用の考え方

お客さまは、果たしてワンマン拡大を望んでいるのか？

どこの線区にいつ入るの？

災害線区でワンマン？！
長編成でワンマン？！
ホント大丈夫？安全第一？
車掌の仕事はどうなるの？

ワンマン運転の拡大は安全の確保が大前提だ！

職場と仕事と生活を守ることが何よりも必要だ！ひがし労に結集し共に闘おう！！